

## 裏磐梯エコツアーリズム協会主催 ばんだいの宝発見講座「植物初歩の初歩」報告

2015年9月1日（土）午後1時から4時まで、裏磐梯サイトステーションにおいて裏磐梯エコツアーリズム協会主催のばんだいの宝発見講座「植物初歩の初歩」を実施しました。講師は黒沢研究室の根本秀一（D2）が務め、アシスタントとして山口昌子（B4）が参加しました。「植物の名前の調べ方を覚えること」を目的として座学とレンゲ沼周辺の観察を行いました。あいにく小雨のぱらつく空模様でしたが、裏磐梯のガイドさんなど20名以上が参加し、終了予定時間をオーバーしてしまうほどの盛況となりました。

はじめ1時間ほど植物の基礎的な知識に関する座学を行い、植物と動物の違いや名前の付け方など、後半の観察で参考となる知識を交えながら解説しました。なるべく退屈にならないようクイズを取り入れたり、植物標本や図鑑の実物を持参したり工夫をしてみました。そんな心配は要らなかったと思われるほど皆さん熱心に聞き入っておられました。

後半はレンゲ沼遊歩道を散策しながら、植物形態用語のパンフレットを手に、実際の植物の形にどんな用語がついているのか観察しました。希少種のテイネニガクサをはじめツリフネソウ、アズマカモメヅル、ホツツジなど可憐な初秋の花々も見られました。また、マルバオモダカ、コタヌキモ、マツモといった県内では裏磐梯以外では殆んど見られない希少な水草が生育する様子も察していただき、地域の水環境の豊かさを再認識していただけたように思います。

前回に続き裏磐梯エコツアーリズム協会の真野真理子さん、裏磐梯エコガイドの会の友坂豊さん、裏磐梯サイトステーションの皆さんにお世話になりました。御礼申し上げます。

報告 黒沢研究室博士後期課程2年 根本秀一

